

サーラエナジー株式会社



中部ガス

ガステックサービス



2019.12.1

sala サーラエナジー株式会社

サーラE&L東三河 サーラE&L浜松 サーラE&L名古屋 サーラE&L静岡

誕生

中部ガス株式会社とガステックサービス株式会社は
地域のみなさまの暮らしやビジネスを支える存在であり続けるため、
サーラエナジー株式会社として生まれ変わります。
そして、これまで以上に地域に密着した、きめ細かなサービスをお届けするため、
「サーラE & L」各社を設立します。



会社概要



商号	サーラエナジー株式会社（旧社名：中部瓦斯株式会社）
本社所在地	愛知県豊橋市駅前大通一丁目55番地 サラタワー
設立	1943年（昭和18年）9月1日
事業年度	12月1日から11月30日まで
資本金	31億6,278万9千円
事業内容	<ul style="list-style-type: none">• 都市ガス事業• LPガス事業• 高圧ガス事業• 電気供給事業• ガスに関連する機械器具の販売• ガスに関する工事の請負• リフォーム工事の請負• 暮らしのサービスに関する事業• 石油事業• 熱供給事業

都市ガス供給エリア

サーラエナジーは、愛知県豊橋市と静岡県浜松市を中心に、東三河、遠州西部の両地域で都市ガス事業を行っています。各地に整備されたガス導管網を通して、お客さまにクリーンエネルギー「天然ガス」をお届けしています。

サーラエナジーが都市ガスをお届けしている地区は、下記の7市です。

豊橋市

豊川市

蒲郡市

田原市

浜松市

湖西市

磐田市



サーラエナジーの地震防災対策

・地震防災対策の基本方針

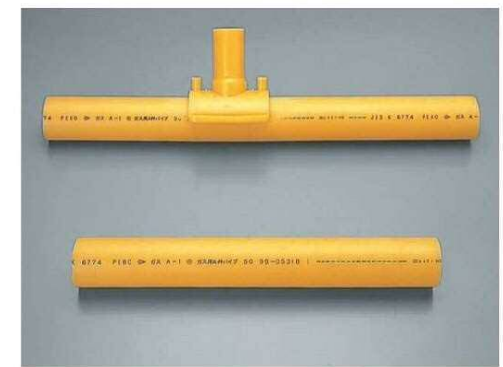
3本柱に基づく総合的な地震防災対策



サーラエナジーの地震防災対策

・設備対策

ガスホルダーや供給所設備など重要なガス設備は東日本大震災クラスの地震にも耐えられる設計となっています。またお客さまの敷地につながるガス導管は耐震性に優れた「ポリエチレン管」などを使用しています。さらにお客さま宅には震度5相当以上の強い揺れを感知すると自動的にガスを遮断するマイコンメーターを設置し被害を未然に防ぎます。



ポリエチレン管
耐震性・耐食性に優れています。



マイコンメーター
ガス漏れや地震（震度5相当）でガスを自動遮断。

サーラエナジーの地震防災対策

・設備対策（津波対策）

津波被害を最小限におさえ、早期に復旧を図るためにガバナーステーション等の重要設備には機能維持対策を講じています。



水密扉

扉は2重扉とし、屋外側は水密扉を設置。

建物構造

「津波避難ビル等に係るガイドライン」に準拠した強度。



ガバナーステーションの津波対策例



設置高さ

受電設備、非常用発電機等は2F以上に設置。

その他

- ・無窓
- ・浸水経路の水密化
- ・避難経路、避難場所の確保。

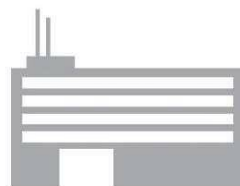
サーラエナジーの地震防災対策

・緊急対策

大規模な地震が発生した場合、地震計 (SIセンサー)などの情報を供給センターで収集します。二次災害の恐れがあるエリアを他のエリアと切り離すために、速やかに基地ガバナ室の緊急遮断装置を作動させ、ガスの供給を停止します (ブロック遮断)。

供給センター

地震情報を収集し、基地ガバナにガス供給の停止の指令を発信。

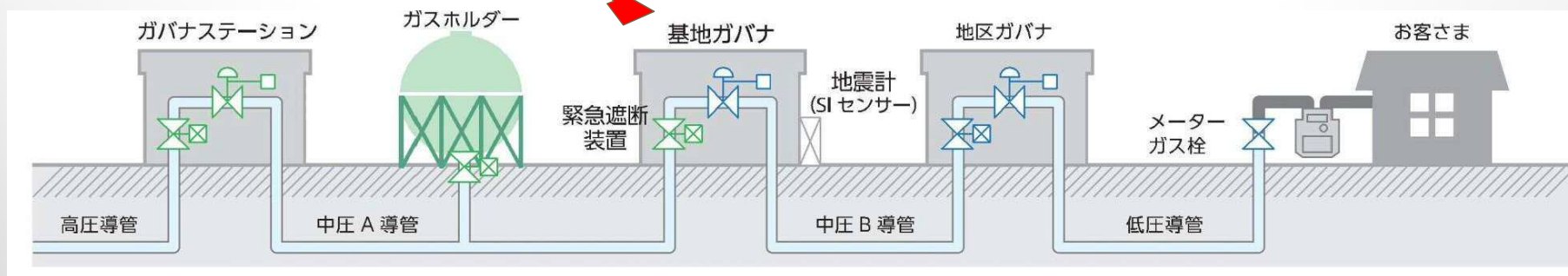


基地ガバナ

ガスを中圧Aから中圧Bに減圧する設備。
地震計 (SIセンサー) や緊急遮断装置を設置。

地震計 (SIセンサー)

地震被害の大きさと関係が深い「SI値」を測定。



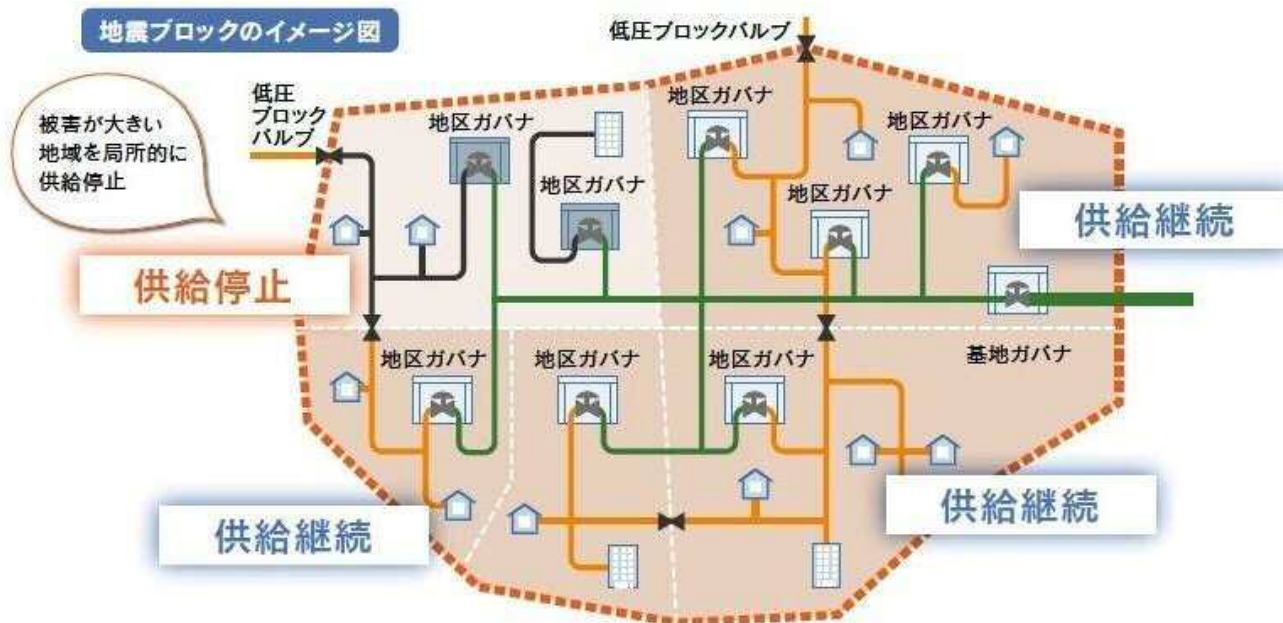
地震遮断のフロー

サーラエナジーの地震防災対策

・緊急対策

近年発生した地震においても、地震規模に応じてブロック停止し、二次災害を防止しています。

サーラエナジーでは豊橋地区を4ブロック、浜松地区を6ブロックの「統合ブロック」に、さらに豊橋地区を13ブロック、浜松地区を20ブロックの「単位ブロック」に分割しています。



サーラエナジーの地震防災対策

・復旧対策

ガスの供給を停止した地域に一日も早く供給を再開できるように、被害状況に合わせた復旧計画の策定を行い関係機関との連携、全国の都市ガス事業者とも協力し復旧作業にあたります。

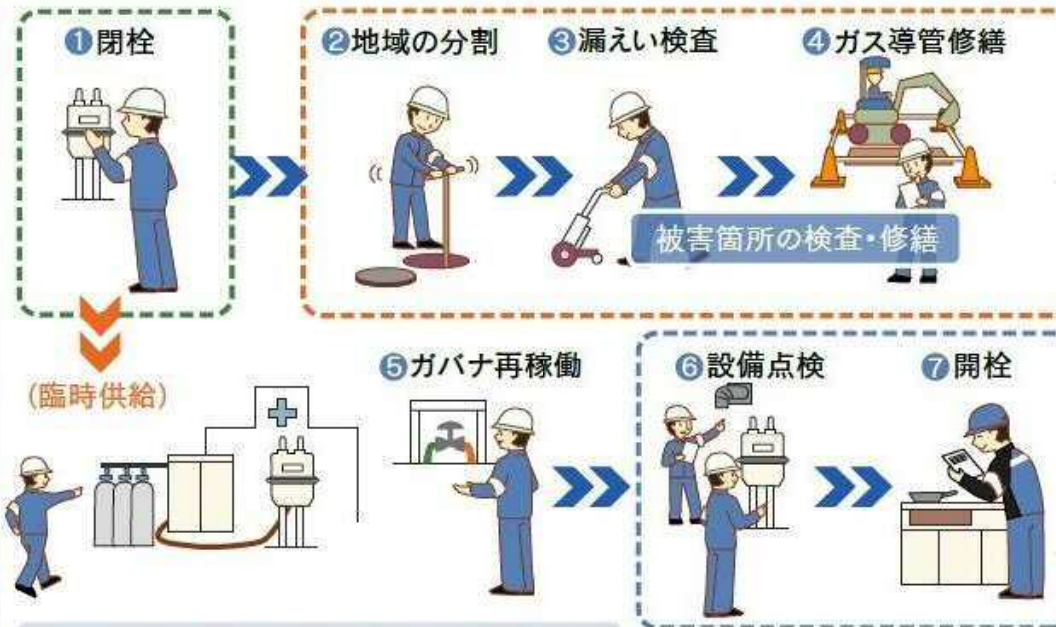
災害拠点病院など社会的優先度の高い施設には移動式ガス発生設備を利用して臨時供給を行います。

サーラエナジーの地震防災対策

・復旧対策

ガスの供給を停止した地域の復旧の流れ

- お客さま宅を1軒ずつ巡回訪問し、安全を確認したうえで閉栓・開栓を実施
- 道路に埋設されたガス管の被害に対し、1カ所ずつ検査・修理を実施



ガス管修繕の様子(大阪府北部地震中部ガス応援隊)



開栓作業の様子(大阪府北部地震中部ガス応援隊)

臨時供給に使われる移動式ガス発生設備



LPガスと空気を混合し、都市ガスと同等の燃焼性となる代替ガスをつくるPA(プロパンエアー)13A移動式ガス発生設備



東日本大震災で石巻市内の病院施設への臨時供給のため中部ガスから送られたLNG式移動式ガス発生設備(ガスエネルギー新聞提供)

都市ガス業界の動き

都市ガス業界では、災害時に全国の都市ガス事業者による相互応援の体制が整備されています。全国のガス事業者は災害時に日本ガス協会からの支援要請に対処できるよう準備しています。

過去の地震発生時における都市ガス事業者の復旧応援の状況



都市ガス業界の動き

・情報共有へのICTツール活用

①ガス防災支援システム「G-React(ジー・リアクト)」

ガス事業者と日本ガス協会および経済産業省との間の情報共有を目的としたシステムでガス事業者の供給停止に関する被害情報から救援・復旧活動に必要な情報の共有が可能です。2018年3月にリニューアルされ大阪府北部地震で大阪ガスの復旧支援に活用されました。



都市ガス業界の動き

・情報共有へのICTツール活用

②災害復旧支援モバイル報告システム

「JGA-adres(ジェイジーエードレス)」

災害時の復旧において、モバイル端末で現地から作業報告し、ただちに集計するシステムです。東日本大震災以前は、ガス閉開栓作業の報告や集計を紙ベースで実施しており、集計に時間がかかり作業負荷が大きいことが課題となっていました。熊本地震で初めて利用され、復旧作業の進捗状況の迅速・正確な把握に活躍しています。



自社のお客さまデータを取り込み、閉開栓の作業結果報告ができる

都市ガス業界の動き

・高機能メーターの標準化

感震遮断後、メーターが復帰漏洩確認を行い、漏洩していない場合は自動復帰する。また、従来は2～3分であった復帰漏洩確認時間が、圧力検知式の漏れ確認の採用により1分に短縮されたため、復旧作業時間が短縮されます。

サーラエナジーの地震防災対策

・平常時の体制

サーラエナジーでは事故や災害発生などの緊急時に対応することが出来るよう**24時間365日**の**緊急出動体制**を設置しており、万が一の場合でも直ちに現場に駆け付けます。



サーラエナジーの地震防災対策

・平常時の活動(防災訓練)

毎年、さまざまな状況を想定した防災訓練を実施しています。また、**自治体や近隣ガス事業者との合同訓練**を実施し、万が一のときに備え迅速な対応ができる体制を整えています。



web会議システムを使い情報共有(ガスリビング中部の様子)

web会議システムにより、E&S
本社対策本部と各地区対策本部、
事業所間をつなぎ情報共有を図った



自治体との合同訓練

私のまちにはSALAがある
～暮らしとエネルギーのSALAへ～



ありがとうございました